

プライバシーと社会制度チーム 中川 裕志 Privacy and Social System Team





- 匿名加工情報: 改正個人情報保護法で導入された、個人データをデータ主体の同意不要で第3者提供できる匿名加工情報を作成する技術基準は依然として明確化されていない。その基準を考えるために必要な実験評価を競争型コンテスト第4回PWSCUP実施した。
- GDPRと十分性認定: GDPRが昨年施行され、本年1月23日に日本一EU間での個人データ流通を可能に する十分性認定が発効した。ただし、日本国内の個人データも基本的にはGDPRを尊重しなければならない ため、法的問題点などの明確化に関する調査を行った。

PWSCUP 2018

背景:

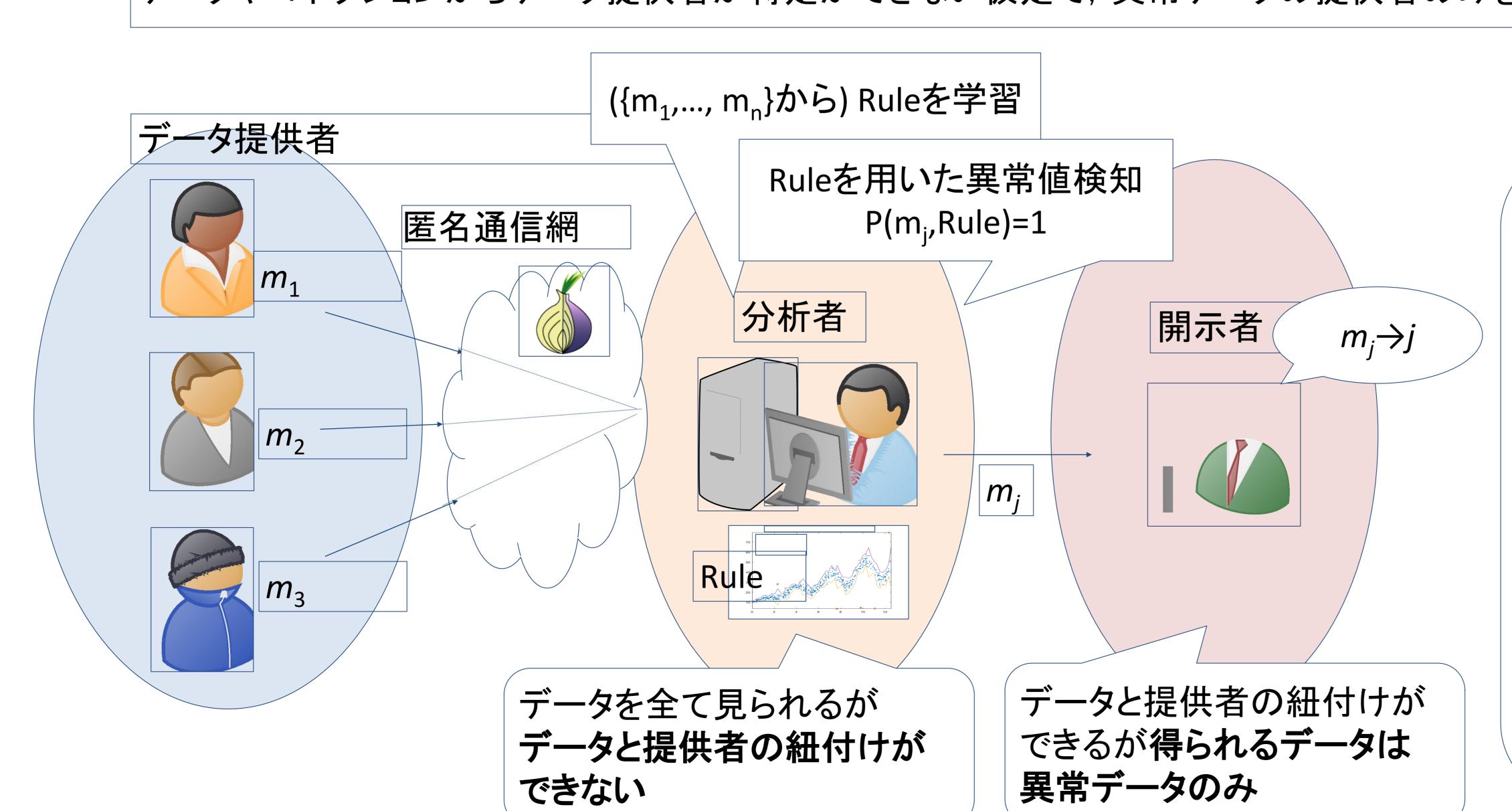
• 個人データの流通促進にプライバシー保護が必要

目的:

- ・ 評価方法と加工技術の確立により改正個人情報保護法の議論に **PWSCUP** 資する
- 1年間の購買履歴データ(約4000名分のデータ) 成果:
- 新たな評価方法を設計し、プライバシー保護と データ有用性維持の両立を求める競争型タスクを開催
 - ・一定の基準に基づいた安全性評価
 - 基準値以上の人数が再識別されると失格
 - 一般化に対応かつ特定用途に特化しない有用性評価
 - ・ 結果 14チーム中9チームが失格
 - 2一匿名化の方法が優秀な成績。
 - 3一匿名化だともつと効果的だが、計算時間が大きく実行できなかった。

暗号を用いたID 管理フレームワーク

データやコネクションからデータ提供者が特定ができない仮定で、異常データの提供者のみを特定





提案モデルの概要

構成する暗号

- メッセージ依存開示 可能グループ署名 (Type-3)
- 非対話開示可能公開 鍵暗号

特徴

- 異常検知手法に非依存
- ・ 十数msec/レコードの オーバーヘッド